

小学校 3, 4 年生の英語学習先行実施について

概要

- 平成 28 年度に小学校中学年英語教育を先行実施する。
(国は 30 年度に先行実施、32 年全面实施)
- 先行実施にあたり、教材の開発と指導書の作成、学級担任等の英語指導力の向上を図る。

(1) 英語教育の先行実施について

- ・ 週 1 時間 (年間 35 時間) 実施する。
※文部科学省に特例校の申請を行い、教育課程を独自に編成している。
- ・ 授業名は「英語活動」とする。
- ・ ゲームやチャンツなどのアクティビティ (活動) を中心に、話す・聞く力とともに、英語に慣れ親しむ態度を育てることを目的に行う。
- ・ ALT や外部講師を入れて行うこともあるが、基本的には担任が授業を行う。

(2) テキスト等の開発等について

- ・ 3、4 年生の全児童に授業で活用する市独自のテキスト「ENGLISH NOTE」を配付する。

- 3、4 年生でそれぞれ別冊
- 各 12 トピック、32 頁、カラー印刷
- 4 年生で糸島の観光名所を紹介する等の内容も設定

- ・ 併せて、教師用指導計画書及び提示資料を全小学校に配付する。

- 教師用指導計画書
 - ・ 35 時間分の活動計画を記載
- 提示資料
 - ・ ENGLISH NOTE に記載しているイラストを拡大し、黒板に掲示する。

(3) テキスト等開発の経緯について

- ・ 26 年度までに 4 校で、年間 10~12 時間の授業を実施した。この成果をもとに全体の骨子を教育委員会で作成し、各小学校の外国語活動担当教員に毎時間分の指導内容やそこで必要となる教材の原型について作成を依頼した。これをもとに教務主任を中心とするテキスト編集委員会で検討してまとめ上げた。